

下顎・口腔内・舌頭部血管腫について

病 名	病気の症状や対応について	難病の団体・HP
下顎・口腔内・舌頭部血管腫	<p>◇症状</p> <p>血管腫とは、血管内皮細胞が異常増殖する小児の良性腫瘍です。通常出生時にはみられず、生後まもなく出現して急速に増大しますが、90%以上は7歳くらいまでに自然退縮します。</p> <p>女性：男性＝3：1で女性に多く、遺伝性はありません。多くの血管腫は自然退縮するため、経過観察のみでとくに治療を必要としませんが、病変が大きい場合にはレーザー治療や切除がおこなわれます。従来、『毛細血管性血管腫』『莓状血管腫』『莓状母斑』と称されていたものがこれにあてはまります。皮膚表面の血管腫では鮮やかな深紅色の隆起がみられ、多くは直径0.5～5cmで境界ははっきりしていますが、地図上にひろがるものもあります。また、皮下組織の血管腫では皮膚が少しふくらんで青みがかった色になったり、ふくらみもなく普通の色と変わらないこともあるようです</p> <p>◇ 治療</p> <p>毎年観察して大きくならなければ、治療の必要はありません。大きくなったり、悪性の疑いがある場合は外科手術で摘出します。</p>	<p>特定非営利活動法人 日本口唇口蓋裂協会 aichi-gakuin.ac.jp/~jcpf/</p>

